



移住者名	Bさん
都道府県	三重県 志摩市 渡鹿野島
移住先	東京⇒名古屋⇒渡鹿野島
移住年	2018年
職業	飲食店⇒農業⇒地域おこし協力隊
家族構成	単身
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

昔はバイクでのツーリングが好きで色々な観光地を巡ったが、次第に「旅をする側」から「旅をされる側」に住んでみたくなったから。

5年ほど前から検討しており、移住先は海がきれいなところが良かったので、静岡県と三重県に絞っていた。志摩市の渡鹿野島以外には、鳥羽市石鏡町へ行き空き家バンク物件を見せてもらったりしたが、たまたま総務省の「移住ナビ」で志摩市が「渡鹿野島で空き家を活用した島の活性化」をミッションとした地域おこし協力隊を募集していることを知り、昔経営していた飲食店でのDIY経験を活かせると思い応募し、現在活動中である。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

仕事と収入が不安。

安定して収入を得ることができればいいが、都会暮らしが長かったため、田舎でどういう仕事があり、どれくらい稼げるのか不明であった。現在は地域おこし協力隊として活動しており、3年後の開業に向けて活動しているが、それも安定収入につながるか不安がある。これまでは東京都（国立市）で飲食店を経営しており、その後名古屋にて農業に携わったこともあり、地域おこし協力隊としてのミッションにも活かせる部分はあるが、やはり不安がある。

都会であれば、内容にこだわらなければ仕事は色々なものがあるが、田舎は総じて職種が少ないことも不安の一つである。

Q. 移住して良かったことは？

毎日趣味の「魚釣り」ができること。釣りは30代半ばごろに、当時経営していた飲食店のお客さんに誘っていただいたのがきっかけで、現在に至るまでどっぷりはまってしまった。当時はブラックバスを釣りに河口湖等へ2時間程度かけて通い、自分のボートまで購入したほど熱中した。東京（国立市）から目当ての釣り場まで行くのには、近くても1時間半かかり、1～2時間の移動は普通であった。

今の島暮らしでは、徒歩3分で釣り場に行ける。道具が足りなくなれば家に取りに帰ればいいので、普段釣りをする時はかなり軽装で行けるのも魅力の一つ。また、島には釣り仲間も結構いるので、その方から色々な情報を得たりしている。

魚は結構釣れるにも関わらず、離島であるが故に、堤防を貸切状態で釣りができることも魅力のひとつ。シーバスやアオリイカをはじめ、メバルやクロダイなんかも堤防から簡単に釣れる。

Q. 移住を考えている方へメッセージ

移住でのアドバイスは「誰とも笑顔で挨拶」と「現地の言葉を意識的に使う」こと。

「誰とでも笑顔で挨拶」することでコミュニケーションが生まれていくので、都会暮らしが長い方には少しハードルが高いかもしれないが、自分から積極的にすることが大切。隣近所だけでなく、島民と「仲良くしよう」と自分から思う事が大切で、中には毎回無視される人もいるが、それでも毎回声をかけていることで仲良くなった方もいるので、積極的に笑顔を絶やさないことが大切。

「現地の言葉を意識的に使う」ことで、地域の方と仲良くなれることがある。あえてその地の言葉を、不器用でもいいので使っていくと、そこから話が広がることもある。

